●汚れたままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。

薬品類 ●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着するとケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。

保管 ●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所をさけて保管してください。

バンド ●バンドは指が1本入る程度の余裕をもたせてください。

電池交換について

最初の電池 ●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

消耗 ●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立つ」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換 ●電池交換は必ずお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
表示方式：FE型液晶デジタル表示
基本機能：時刻表示＝時・分・秒・午前／午後
　　：カレンダー表示＝月・日・曜日　フルオートカレンダー
アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝分　電子ブザー＝20秒間
　　時報　毎正時に2回電子ブザーで報時
デュアルタイム機能：表示内容＝時・分・秒
タイマー機能：計測単位＝1/20秒　セット単位＝分　電子ブザー＝10秒間
　　計測範囲＝60分　計測機能＝通常計測・積算計測
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒　計測範囲＝59分59秒99(60分計)
　　計測機能＝通常計測、積算計測、ラップ計測、1・2着同時計測
セット機構：時刻・カレンダーセット機構、秒合わせ機構(±30秒クリア)
　　アラームセット機構、デュアルタイムセット機構、タイマーセット機構
その他：自動復帰機能　モニターアラーム　12/24時間制表示切替え
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップC/MOS-LSI
使用電池：No.361（電池別途販売）
電池寿命：約15ヵ月（1日当り電子ブザーを20秒使用した場合）

CASIO
Léger
レジェ

時刻、時報、モニターアラーム・タイマー
1/100秒ストップウオッチ・デュアルタイム

使用説明書 449

秒の合わせ方……30秒以内の遅れ進みの修正

月に1度ぐらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

(1)操作のしくみにしたがいⒸボタンを押して時刻セットモードにします。



(2)時報に合わせて、Ⓐボタンを押すと「秒」が点滅しながら00からスタートします。

秒表示が00～29のときは切捨てられ、30～59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。



(3)Ⓒボタンを押すと時刻・カレンダーモードに戻ります。



時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後など時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

(1)操作のしくみにしたがいⒸボタンを押して時刻セットモードにします。

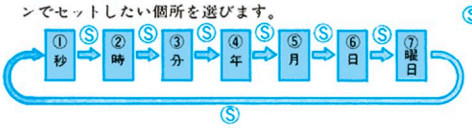
確認 ⇨ "秒" が点滅していますか？

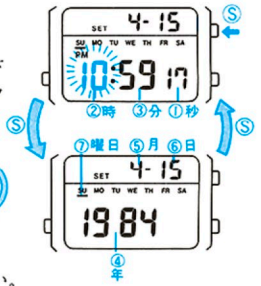


(2)Ⓢボタンを押します。

確認 ⇨点滅する個所が移動しましたか？

※セットモードのとき、Ⓢボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動します。点滅個所がセット可能ですので、Ⓢボタンでセットしたい個所を選びます。





※時刻・カレンダーモードのとき「年」は表示されませんが、フルオートカレンダーのため「年」(西暦)を合わせてください。
(1980年～2019年までセットできます)

(3)Ⓐボタンを押します。

確認 ⇨点滅している表示が1つ進みましたか？

※Ⓐボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進み、押し続けると早送りができます。

注）"秒"のときは表示が00になります。⇨「秒の合わせ方」参照



Ⓢボタンでセットしたい個所を選び、Ⓐボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。
注)「時」のセットのとき午前(不点灯)／午後(PM)にご注意ください。

(4)セットが終わったら(どの個所が点滅していても)、Ⓒボタンを押すと時刻・カレンダーモードに戻ります。



●カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

●鳴っている電子ブザーを止めるにはⓈボタンを押します。
●他モードへの切替え
　タイマーまたはストップウオッチを使用中にⒸボタンを押して時刻・カレンダーモードなど他のモードにしても、その計測には影響ありません。
●モニターアラーム
　アラームモードのとき、Ⓐボタンを押し続けると電子ブザーが鳴ります。
●自動復帰機能
　時刻セットモードやアラームモード、デュアルタイム、タイマーのセットで表示を点滅させたままにしておくと、1～2分後自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。

ご使用上の注意

温度 ●直射日光が長くあたったり、高温になる所に放置しないでください。
　また、寒い所に長く放置しないでください。
●遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。また＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

防水性 ●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの
　洗顔や雨など日常の使用に耐える構造になっていますが、水泳・入浴・洗車時などでのご使用はお避けください。
　【防水性能を保つために定期的(2～3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。】
●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの
　防汗構造となっておりますが、防水時計ではありませんので、直接、水に触れるようなご使用はお避けください。

ショック ●通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。

磁気 ●磁気の影響はありません。

お手入れ ●ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にしてご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまった汚れを部分洗いすることをおすすめします。

このたびは、カシオデジタルウオッチをお買いあげくださいましてありがとうございました。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取扱いくださいますようお願い申しあげます。

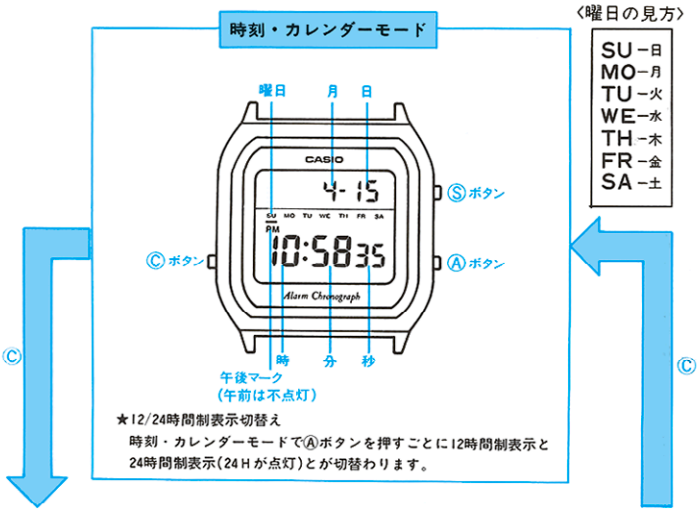
なお、この使用説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

時計のお取扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

操作のしくみと表示の見方

Ⓒボタンを押すごとに以下の順でモードが切替わります。
（押すごとに確認音が鳴ります）

※各モードでⒶまたはⓈボタンを押した後、Ⓒボタンを押すと直接時刻・カレンダーモードに戻ります。

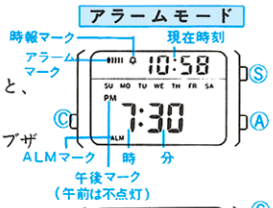


★12/24時間制表示切替え
時刻・カレンダーモードでⒶボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示（24Hが点灯）とが切替わります。



アラームの使い方……操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、アラームモードにします。

確認 ⇨ALMマークの点灯



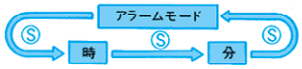
アラームは分単位でセットでき、セット時刻になると、20秒間電子ブザーで知らせます。
また、毎正時（00分のとき）を〝ピッピッ〟と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。

●セットのしかた

(1)アラームモードのとき、Ⓢボタンを押すと「時」が点滅します。
※〝SET〟が点灯します。



(2)Ⓢボタンを押すごとに点滅個所が右図の順で移動します。



(3)Ⓐボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進みますので、Ⓢボタンでセット個所を点滅させ、Ⓐボタンでセットをおこないます。
※Ⓐボタンを押し続けると早送りができます。
注）「時」のセットのとき午前（不点灯）／午後（PM）にご注意ください。
注）時刻表示を24時間制表示にしているときはアラーム時刻のセットも24時間制表示となります。



(4)セットが終わったら、Ⓢボタンを押してアラームモードに戻します。
※Ⓒボタンを押すと、「時刻・カレンダーモード」に戻ります。

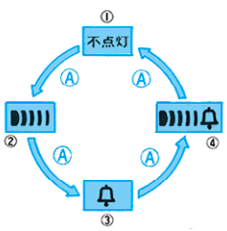


●アラーム、時報のON/OFF

アラームモードのとき、Ⓐボタンを押すごとにアラームマーク、時報マークが以下の順で点灯、不点灯をくりかえします。アラームマークまたは時報マークが点灯しているときがONの状態です。
※Ⓐボタンを押すごとに確認音が鳴ります。



①アラームマーク、時報マークが消えているとき
——→アラーム、時報ともOFF
②アラームマークのみ点灯しているとき
——→アラームのみON
③時報マークのみ点灯しているとき
——→時報のみON
④アラームマーク、時報マークが点灯しているとき
——→アラーム、時報ともON



デュアルタイムの使い方……操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、デュアルタイムモードにします。

確認 ⇨DUALマークの点灯



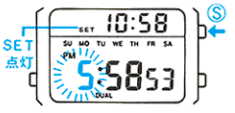
デュアルタイムとは基本時刻のほかに海外時刻などもう一つの時刻をセットできる機能です。

●12/24時間制表示の切替え

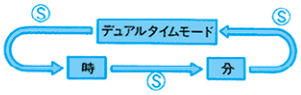
時刻・カレンダーモードとは別に切替えができます。
デュアルタイムモードのときⒶボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示（24Hが点灯）とが切替わります。

●セットのしかた

(1)デュアルタイムモードのとき、Ⓢボタンを押すと「時」が点滅します。
※〝SET〟が点灯します。



(2)Ⓢボタンを押すごとに点滅個所が右図の順で移動します。



(3)Ⓐボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進みますので、Ⓢボタンでセット個所を点滅させ、Ⓐボタンでセットをおこないます。
※Ⓐボタンを押し続けると早送りができます。



(4)セットが終わったら、Ⓢボタンを押してデュアルタイムモードに戻します。
※Ⓒボタンを押すと「時刻・カレンダーモード」に戻ります。



タイマーの使い方……操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、タイマーモードにします。

確認 ⇨TMRマークの点灯



タイマーは分単位で最大60分までセットでき、セット時間が経過すると10秒間電子ブザーが鳴ります。

(1)タイマーモードのときⓈボタンを押すと「分」が点滅します。
※〝SET〟が点灯します。



(2)Ⓐボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ（1分ずつ）進みますのでセットしたい時間（1～60分）にします。
※押し続けると早送りができます。



(3)Ⓢボタンを押すと点滅は止まり、セット完了です。
Ⓐボタンを押すと減算計測を開始し、残り時間を1/100秒単位で表示します。
※操作確認音が鳴ります。



●ロスタイムがある場合

減算計測中、Ⓐボタンはスタート／ストップボタンとなり、減算計測をストップさせることができます。サッカーなどロスタイムのある試合時間の計測に便利です。

●リピート（繰り返し計測）

タイムアップ後（のこり時間0）計測前にセットした時間を表示しますので、同じ時間を何回も計測するとき便利です。
計測の途中で最初からやり直すときは計測ストップ後、Ⓢボタンを2回押します。

ストップウオッチの使い方……操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

確認 ⇨CHRマークの点灯



ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

★計測のしかた……Ⓐ、Ⓢボタンを押すごとに操作確認音が鳴ります。

●通常の計測

Ⓐスタート ⇨ Ⓐストップ ⇨ Ⓢリセット

※積算計測……ロスタイムのある場合には、ストップ後リセットせずに再スタート（Ⓐボタンを押す）すれば表示タイムに引き続き計測をはじめます。

●ラップタイム（途中経過時間）の計測

Ⓐスタート ⇨ Ⓢラップ計測 ⇨ Ⓢラップ解除 ⇨ Ⓐストップ ⇨ Ⓢリセット

●1着・2着のタイム計測

Ⓐスタート ⇨ Ⓢ1着がゴール（1着タイム表示） ⇨ Ⓐ2着がゴール ⇨ Ⓢ2着タイム表示 ⇨ Ⓢリセット